

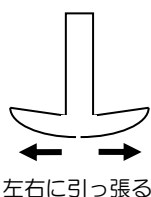
カワスミ カリウム吸着フィルター 使用方法(概要)①

KPF-4 大容量用 (4単位以内用) : 推奨処理流速 50mL/分以下、プライミングボリューム ≒42mL
KPF-1 小容量用 (1単位以内用) : 推奨処理流速 30mL/分以下、プライミングボリューム ≒25mL

生理食塩液によるプライミング

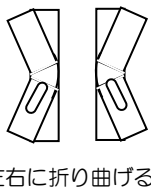
- ① パッケージからカリウム吸着フィルターを取り出す。
- ② ローラークランプを完全に閉じる。
- ③ 生理食塩液をガートル台に吊り下げ、本品のプラスチック針のキャップのタブを左右に開き、キャップの根元を引き裂いてキャップを外す。^{※1}

※1 針キャップの外し方

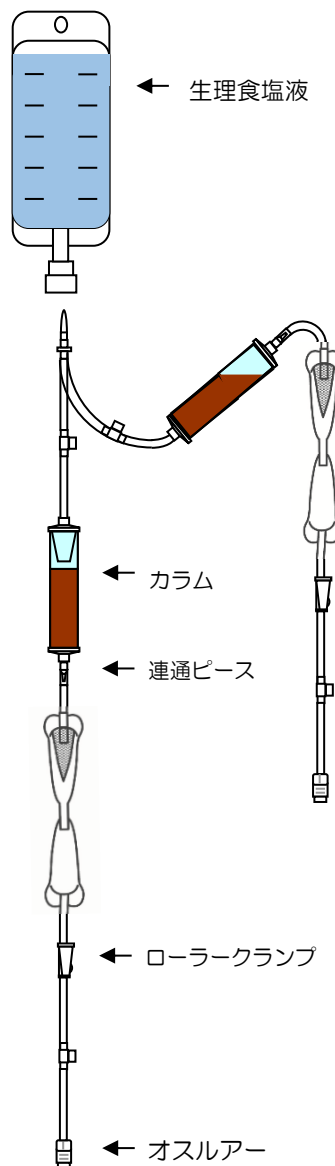


- ④ 本品のプラスチック針を生理食塩液のポートに接続する。
- ⑤ フィルター下の連通ピースを左右に折り、完全に開通する。^{※2}

※2 連通ピースの折り方



- ⑥ カラムを逆さにし、カラム内のエアを上に集める。
- ⑦ ローラークランプを徐々に開き、カラム内のエアを追い出す。
(その際数回カラムを転倒させるとエアを押し出しやすい)
- ⑧ ローラークランプを閉じ、カラムの向きを元に戻す。
- ⑨ カラム内の樹脂にエアをかみ込んでいないことを確認し生理食塩液を流す。
- ⑩ 一連の操作において、200mL 以上の生理食塩液を必ず流す。
- ⑪ ローラークランプを閉じる。



カワスミ カリウム吸着フィルター 使用方法(概要)②

【ベッドサイド法】

1. プライミングが終了したらプラスチック針を生理食塩液のポートから抜き、血液製剤の輸血口を開いて穿刺する。*
2. 以降は一般の輸血と同様の手技で輸血を開始する。

【プール法】

1. プライミングが終了したらプラスチック針を生理食塩液のゴム栓から抜き、血液製剤の輸血口を開いて穿刺する。*
2. セットの先端のコネクターに回収用の空バッグを接続して、処理済の血液製剤を貯留する。
3. 貯留した処理済の血液製剤を通常の手技で輸血する。

※ 参考

セットから最初に流出する血液は生理食塩液で希釈されています。希釈の影響を避ける場合は、以下の容量を流すことで初期 Ht の 90%程度まで回復します。

KPF-1 : 60mL (生理食塩液を含む量)

KPF-4 : 65mL (生理食塩液を含む量)

図 1 の A と B の血液の色の濃さが同じ位となるのを目安としてください。

○ 処理血液量についての注意点

製品仕様に規定された単位数以内で使用してください。

KPF-1 : 濃厚赤血球製剤 1 単位以内

KPF-4 : 濃厚赤血球製剤 4 単位以内

○ 血液処理速度についての注意点

処理速度に注意してください。(十分な吸着性能を発揮させる為には製品仕様毎に規定された処理速度以内で使用してください)

KPF-1 : 30mL/min 以下

KPF-4 : 50mL/min 以下

○ 赤血球製剤の回収時の注意点

血液バッグが空になり血液が流れなくなったら輸血の終了となります。回路内の残留血液を回収する場合は、図 2 のように製品上部のゴムボタンに“通気針”を刺し、清浄な空気により赤血球製剤を回収してください。

決して生理食塩液等で洗浄・回収しないでください。吸着したカリウムイオンが急激に溶出するおそれがあります。

使用後、生理食塩液による回収は行わないこと

